

まほろば



2018.7
第203号

院内感染対策研修会 「抗菌薬適正使用の第1歩～Let's 正しく検体採取」

3日間にわたり全職員を対象に研修会を開催しました。病院職員は院内研修会に参加して感染対策に関する知識を得ることが国により定められています。今回は、検査技師が感染源（病原菌）を見つける検査を正しく実施することで、正しい検査結果を導き、患者さんに適切な抗菌薬（細菌を退治する薬）治療ができることを、実際の細菌や検査容器の写真を使用してわかりやすく講義しました。計225名の参加があり、「抗菌薬の選択には検体採取がとても重要だと気付いた」「適切な採取容器を使用することで細菌の特定がされやすくなることを改めてわかった」などの感想が聞かれ、正しく検査を行うことの重要性を改めて学ぶ機会になりました。

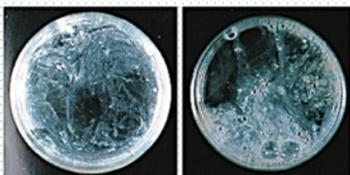
抗菌薬の乱用により、もともと退治できた病原菌が変化し、薬が効かない性質（薬剤耐性=AMR）を持つようになった「薬剤耐性菌」が世界中で問題になっています。このまま何も対策をとらなければ、全世界で耐性菌による年間死者数は2050年に1000万人まで増えて、がんによる死者数を上回るとの推計もあります。日本はAMR対策を立てて、国全体で抗菌薬を適切に使用する取り組みを開始しました。弘前病院では、今回学んだ「検査を正しく行う、抗菌薬を正しく使う」取り組みを行います。患者様には「抗菌薬を飲み始めたら最後まで飲みきる」「カゼでは『念のため』の抗菌薬をもらわない」「医師に薬を処方されたら何に効くのかを十分に聞くこと」をお願いしたいと思います。

感染管理副看護師長：對馬 春子

採り方とポイント ～喀痰～

- ・ 水道水でうがいをして口腔内を清潔にしてから採取しましょう
- ・ 喉の下方の気管支や肺から出てくる痰を採取

悪い痰…唾液成分が多い



良い痰…膿性成分が多い



【結果が正しく出るように「良い痰」を検査に出しましょう】



『今年も美しい花束が届きました。』

6月20日(木)、弘前学院聖愛中学高等学校の生徒さんが来院し、「花の日」礼拝で飾られた花束を届けてくれました。

当校の「花の日」は、生徒・教職員が花を持ち寄り、礼拝堂に飾り、生きとし生ける全てのものに生命を与えて、養い育てる神様に感謝を献げる礼拝を行った後、病床にある方やお世話になっている方々に花を届けるというものです。

生徒さんからは、美しい花束とともに、小児科病棟へメッセージカードも受け取りましたのでご

紹介いたします。

「1日でもはやく良くなることをおいのりします。これからもがんばってください。応援しています。」

美しい花束とメッセージを受け取り、患者さまが、はやく元気になられて退院できるよう支援していくことを改めて強く思うことができました。

梅雨空の蒸し暑い中、生徒さん3名と引率して下さった先生に感謝申し上げます。

管理課長：平川 浩



第11回臨床研修医セミナー及び県医師臨床研修病院合同説明会に参加して

平成30年6月2日、弘前大学医学部学生支援センターで、青森県医師臨床研修対策協議会ならびに第11回臨床研修医セミナーが開催されました。

県医師臨床研修対策協議会主催で、県内臨床研修医のレベルの向上を図り、併せて県内各臨床研修病院の研修医・指導医と医学生の交流を図るため毎年行われております。

第1部 Case Share Conference では 県内臨床研修医が遭遇した症例・事例で教訓的なもの、ためになる経験で県内の研修医で共有したいものを提示し、検討するカンファレンスで、総合司会加藤博之(県医師臨床研修対策協議会副会長)、発表者は1研修病院あたり1名の研修医で、当院からも2年目研修医 橋本卓也先生から絞扼性イレウスに関する発表がありました。初期段階では軽微

に見える一方で、短時間で重症化する重要な救急疾患であり、ゲストコメンテーターの藤田保健衛生大学救急総合内科 岩田充永教授からも大変危険な疾患で、乳酸値の上昇が重要であるというコメントをいただきました。

午後は来年以降に卒後臨床研修を予定している医学生を対象とした県医師臨床研修病院合同説明会となり、各病院のブースを研修病院として希望する多くの学生が訪れました。弘前大学県内定着枠の増加と相まって当院のブースにもこれまでにない数の医学生が訪れました。研修プログラム、教育環境などについて当院研修中の先生から後輩への説明があり、熱心に聞いておりました。

当院が弘前地域における教育研修施設として今後さらに発展充実していくことを願っております。

臨床研究部長：石黒 陽



うちのNew Face

当病棟の病室の窓からは、岩木山の悠々とした姿が眺める事ができ、その岩木山からエネルギーをもらいながら、スタッフは働いています。

この春、新卒の看護師 3 名を新人看護師として迎えました。岩木山の残雪が少なくなるのと同じスピードで、3人の新人は着実に成長しております。新人教育はさくらナースと呼ばれるリーダー 1 名と 3 名の担当看護師 4 名が中心となり指導を行っ

ています。さくらナースが綿密に成長に合わせた指導計画を立て、新人看護師一人一人に年齢の近い看護師が担当し、細やかな指導や相談を行っています。慣れない環境で毎日覚える事がたくさんあり大変な時期ではありますが、新人看護師 3 名は積極的に物事に取り組み、患者さんにも優しく丁寧に接する姿が見られ、今後の活躍を大変期待しております。 7階病棟 看護師長：堀籠 ゆき



研修医便り

初期臨床研修1年目の石戸谷美奈と申します。鱒ヶ沢生まれ弘前育ちです。今までは石戸谷というと皮膚科と関係あるの？と聞かれていましたが、最近薬剤師の石戸谷と関係あるの？と聞かれることが増えました。

研修が始まり 3ヶ月が経ち、最初は何をどうすればいいのか全く分からない状態でした。4月の頃の自分と比べると少しは成長できていると信じていたのですが、まだまだ勉強不足を実感する日々です。4、5月は消化器内科、6月は血液内科でお世話になりました。どの先生方も厚くご指導してくださり、恵まれた環境で研修できていると感じています。7月からは小児科で2ヶ月研修させていただきます。

学生時代はバレーボール中心の生活をしており、今バレーから離れて趣味がなくなっていました。何か新しい趣味を探しています。

2年間でたくさん力をつけられるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



臨床研修医：石戸谷 美奈

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2018年7月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子
		下山垂矢子	田中佳人	田中佳人	-	田中佳人
		-	石岡佳子	-	-	-
消化器・血液内科		松木明彦	相原智之	相原智之	松木明彦	相原智之
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	千葉裕樹	佐藤年信	安田耕平	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	千葉裕樹	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	敦賀和志	佐藤工	杉本和彦
		敦賀和志	梅津英典	佐藤啓	梅津英典	佐藤啓
		遅野井香純	-	-	-	遅野井香純
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木規博	秋元博之	秋元博之	藤田有紀 受付10時まで	秋元博之
		飯尾浩平	飯尾浩平	佐々木規博		佐々木規博
		藤田有紀	太田聖也	藤田有紀		飯尾浩平
脳神経外科		-	-	木村正英	-	-
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
泌尿器科	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
	午前	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨
産婦人科	午後	検査	検査	手術	検査	手術
		飯野香理	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野香理
眼科		松村由紀子	小玉都萌	松村由紀子		石原佳奈
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	休診	西澤尚徳	西澤尚徳
		三國谷由貴	山内一崇	-	-	-
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	休診	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>